



千地申1号「第35回定期大会」の発言に踏まえた申し入れ

地本大会での代議員発言に基づき、千葉支社と団体交渉を行う！④

4. 新型コロナウイルス感染症に対する衛生用品の配布に不安があることから、現在の備蓄状況を明らかにすると共に、感染拡大の第2波以降を想定した準備を行うこと。また、新型コロナウイルス感染症等により発生する勤務免除の取り扱いについては、業務量に応じた適正な判断をすること。

【会社回答】

新型コロナウイルス感染症の感染状況を踏まえ、対応しているところである。なお、勤務の取扱いについては、事象が個別に異なることから、個別に判断することとなる。

- (組合) 申し入れをした時期は、世間的にも衛生用品の供給が需要に追いついていなかったが、今は安定している。現在は支社に備蓄して、職場から要請があれば支給しているのか？
- (会社) 当初は支社が一括で発注していたが、現在はペーパータオルとハンドソープは支社、マスクと消毒液は業者に職場が直接発注できるようになった。
- (組合) 変異株の脅威もある中、これまで以上の感染拡大防止策は考えているのか？
- (会社) これまでと同様、基本を徹底していくしかない。特にマスクを外す食事時に注意して欲しい。
- (組合) 当時、勤務の取り扱いが職場毎にバラツキがあったが今はどうか？
- (会社) 当時は職場からの問い合わせがあり、その都度対応した。今は問題なく定着している。
- (組合) 社員の体調はどうやって把握しているのか？また、発熱した場合の帰宅や自宅待機等を命ずる目安として、例えば体温が37.5度以上なら命ずるといった統一的なものがあるのか？
- (会社) 各職場に非接触型の体温計を設置しており、出勤した際や朝点呼で検温したり、乗務員は個別に**対面点呼での申告がある**。体温も人によっても異なるため一律的なものは設けていないが本人の申告や、周りから見た様子で判断している。これだけ蔓延している中で感染は仕方ないところではあるが、拡大させないことが第一。疑いがある場合はすぐに対応している。
- (組合) その際の勤務の対応は？
- (会社) **ケースバイケース**。体調が悪ければ基本は傷病休暇か年休。体調が悪いと認められない場合でも管理者が帰宅を命ずることもあったり、判断に迷う場合は危機管理本部に相談し判断することもある。その対応に応じて勤務を個別に判断している。
- (組合) 感染拡大防止のため、テレワークや必要以上の社員を出勤させない勤務免除を行っているが、営業職場でもやっているのか？
- (会社) 営業は通常通りの業務が出来ている場合でも免除をする必要はない。研修や出張に行く場合に職場内で感染の疑いがある人がいるときは、職場単位で参加を停止させている。
- (組合) 感染の疑いがある人と一緒に働いていた社員に対しては？
- (会社) 検温を一日3回実施させ体調不良になった場合はすぐに申告するようにしている。また感染の疑いがある人や、濃厚接触者になる恐れのある人のPCR検査の結果次第でも対応が変わる。
- (組合) **マスクの色は基本、白でなければならないのか？**
- (会社) **白でなければならないという決まりはない。** 
接客業として常識の範囲で華美でなければいい。
決まりとして一律で縛るものではないが、場合によっては会社が配布しているマスクの着用を促すことのあり得る。
- (組合) **以前は供給が足りていなかったこともあり、マスクの支給が一勤務につき一枚となっていたが、現在もその取扱いなのか？**
- (会社) **今は需給も安定したので枚数の決まりはない。** 常識の範囲内で使って欲しい。



その⑤に続く



千地申1号「第35回定期大会」の発言に踏まえた申し入れ

地本大会での代議員発言に基づき、千葉支社と団体交渉を行う！⑤

5. ICTを活用した業務を推進するため、ネットワーク環境を強化すること。また、グループ会社やパートナー会社へタブレットを導入し、Office365が使用できる環境を整えること。

【会社回答】

必要な環境整備については、計画的に行っていく考えである。なお、業務委託会社の業務執行体制については、業務委託にて定めることとなる。

- (組合) 回答に「計画的に行っていく」とあるが、どこまで進んでいるのか？
(会社) 順次新型のタブレットへの切り替えや、ネットワークの回線を増やし強化している。
(組合) VPNに繋がりにくいと声があったが実際はどうか？
(会社) 基本的には繋がりにくい事は無い。社外に漏れないようにある程度制限をする場合もある。
(組合) 出向者も本体の情報を知りたいと思っている。タブレット端末を貸与しない理由は？
(会社) 自己啓発に活用するところもあるが、基本的には業務で使うもの。他会社の業務に資するために貸与するのは違うし、コストもかかる。付随してweb会議が出来るという意見もあるだろうが、頻度は低い。未来永劫、貸与しないとは言い切れないが支社独自の判断はできない。
(組合) 施策として出向することでスキルアップを図り、戻ってきてその経験を活かして会社を発展させる目的がある。その観点からしても、出向期間も広範かつタイムリーに本体の情報を得ることは必要であることから貸与すべきだ。新しいものを求めている訳でなく、今まで使っていた端末を持っていけばいいこと。
(会社) 必要な情報は郵送しているし、面談等で話すこともある。たまには元職場に行って情報収集をすることもアドバイスしている。出向期間にしか得られないものがあるから、出向先の事に専念して学んで欲しい。端末本体だけでなく、通信費など継続的に掛かるコストもある。
(組合) 社員への情報提供の殆どがタブレットによるもの。自ら情報を収集する意識も高まってきていることからしても勿体ない。千葉支社からの意見として上申してほしい。
(会社) 意見の一つとして聞く。



6. 「ワンマン運転の実施」を含めて、現在の乗務員基地再編の考え方を明らかにすると共に、車掌業務の運転・改札業務を残すこと。

【会社回答】

乗務員基地については、効率的な業務執行体制の構築、輸送の安定性の向上として検討していくこととなる。

- (組合) 乗務員基地再編に関して計画しているものはあるのか？
(会社) 西船橋運輸区については社内調整をしており、時期が来たらお知らせする。場所は新習志野近郊か西船橋近郊か。規模感は250名程度の運輸区になる。それ以外は回答の通り。
(組合) 車掌業務についての回答がないが？
(会社) 様々な輸送体系を検討していくので運転・改札業務を残す、残さないについて明文化せず議論で回答する。これまでの議論であったようにワンマン運転は全線区で検討していくが、すぐに車掌業務が無くなるものではない。
(組合) ワンマン運転も始まり、鴨川運輸区の子掌の波動があるが今後どうしていくのか？
(会社) 鴨川運輸区と特急がある限りは残る。将来設計もあると思うので管理者に相談して欲しい。
(組合) ワンマン運転の問題点はあがっているのか？
(会社) GW終了まで客室に案内係をつけ、半自動ドアの扱いもお客さまに馴染んできている。機器不良も直ぐに出来るもの、時間がかかるものがあるが随時、改善・更新していく。また、お客さまの動向を踏まえて乗降促進を必ず押すといった取り扱いなど更新していく。



その⑥に続く



千地申1号「第35回定期大会」の発言に踏まえた申し入れ

地本大会での代議員発言に基づき、千葉支社と団体交渉を行う！⑥

7. 2020年5月8日に外房線で発生した脱線事故について、運転再開に至った根拠を明らかにすると共に、列車事故等発生時には安全が担保できるまでは徐行運転とすること。また、置石などの列車妨害についての対策を講じること。

【会社回答】

運輸安全委員会より発令されていた保全命令の解除を受け、車両および設備の復旧作業を実施し運転を再開したところである。なお、必要な対策は実施しているところである。

- (組合) 保全命令が解除され、復旧作業終了後に運転再開するまでのプロセスは？
(会社) 保全命令が出されていると車両や設備に触れられないので、解除されてから復旧作業に着手した。車両や線路等の点検・補修完了後に運転を再開した。
(組合) 原因が不明の中、復旧作業から翌日の運転再開まで早すぎるのではないかと？
(会社) 早くはない。脱線しているため程度が少なかったとは言わないが、転覆ではなかったため運転再開が出来た。
(組合) この事故を受けて実施した対策は？
(会社) 置き石が原因として断定できないが、当該の踏切に防犯カメラ（現在は撤去済）や脱線防止ガードの設置、近隣の小学校へ出前授業による啓発活動を実施した。他の場所でも同じ所で複数回発生すれば、添乗や巡回、警察と連携するなど、状況に応じたフェーズを設けて対応している。
(組合) 試運転で今回は回送列車を一本、走らせた後に運転再開となったが、身入りの列車は重量もあり通常速度で運転して安全に問題はないのか？
(会社) 設備社員が点検して専門家の判断で確認したので問題ない。

8. 沿線価値向上の観点や駅の特情を踏まえ、海浜幕張駅のみどりの窓口の営業を継続させ、営業職場の将来像を明らかにすること。

【会社回答】

各駅の販売体制については、お客さまのご利用状況等を勘案し、決定していく考えである。

- (組合) 話せる指定席券売機が2台稼働しているが、何か問題はあったか？
(会社) 順調に稼働しており、トラブルはない。コールセンターの開始時間を9時から8時に早めた。
(組合) 稼働率はどうなのか？また今後増やしていくのか？
(会社) コロナの影響でご利用が少なく、検証しにくい。増設の話があれば示していく。
(組合) 新学期や年度始まりなどの、定期券発売の繁忙期は対応出来たのか？
(会社) 海浜幕張の場合は周辺の学校に「ネットde定期」を周知したのでそれほどの混雑はなかった。
(組合) 後に店舗の企画業務等も行うが、現時点ではどの段階か？また他のエリアでも実施するのか？
(会社) 5年後とかの感覚で、現段階は駅業務のみ。他のエリアは今の段階では考えていない。
(組合) 営業システムの作業ダイヤの見直しにより、区所にもよるが企画業務時間に何をしても良いかわからないという声や、他の人の業務の補佐をしたりで落ち着いて出来ないという声がある。
(会社) 従来は超勤でやっていた業務などを作業ダイヤの中で柔軟に出来るようにした。もちろん他の人の補佐に入るなど様々な業務を行うこともある。
(組合) 乗降終了合図の見直しなど今後も変化していくが、大前提としてトッププライオリティーである安全を担保した上で実施し、問題等が発生すれば指摘するので議論すること。
(会社) 了解した。

その⑦に続く



千地申1号「第35回定期大会」の発言に踏まえた申し入れ

地本大会での代議員発言に基づき、千葉支社と団体交渉を行う！⑦

9. 営業職場の直営駅、委託駅での業務の棲み分けを明らかにすると共に、委託した業務は受託会社で責任を持って行うようにすること。また、異常時対応などの管理駅の負担を軽減するために、管理駅の要員を増やすこと。

【会社回答】

駅業務委託実施後に行う業務については、駅業務委託等の作業要領等に則り取り扱うこととなる。なお、業務に必要な要員は確保しているところである。

(組合) 委託駅の業務を管理駅が担っていて負担が大きい。どう改善を図っていくのか？

(会社) 管理駅と意見交換を行っており、委託会社とも調整しながら負担軽減を図っていく。既に改善したものとして、以前から言われていた乗車券類の発注については、発注自体は管理駅がするが、納品は業者から直接委託駅に直送するように改善した。また報道機関からの取材要請対応についても、委託会社から本体の広報Gを通していたが、委託駅から直接広報Gとやり取りするようフローを見直した。

(組合) 現段階でSBとJESS以外に駅業務を委託する計画はあるのか？

(会社) 特にない。

(組合) 海浜幕張駅の朝通勤時に、本体が運営していた時はいなかったが今は旅客も少ないなかSB社員が立っている。乗務員からすると何かの対応で出場しているのか、何なのか不明である。安全確保のためにしていることは否定しないが、関係区所と共有するべき。

(会社) 安全意識を向上させるためにやっているものとする。

(組合) 異常時等の権限はJESSと同様で変わらないか？

(会社) そうだ。



10. 車イス対応における乗車位置、乗車列車、車掌への案内不可などを主張するお客さまについては、安全を確保するための必要な取り扱いであることを理解して頂く取り組みを行うこと。なお、理解を得られない場合は、対応を検討すること。

【会社回答】

現行通り対応されたい。なお、対応方については、バリアフリー対応マニュアルに則り取り扱っているところである。

(組合) 車イスご利用のお客さまが乗車する場合の場所は決まってないのか？

(会社) お客さまとの会話の中で決めていく。工事箇所などの問題でこちらから提案することもある。

(組合) 基本の取り扱いは変わったのか？まずは基本のご案内を提示した上で、ご希望を踏まえた対応をするべきだ。

(会社) 変わっていない。お客さまとコミュニケーションを取り対応している。HPでの周知や事前申し込みフォームがあるが、ご覧になっていない場合もある。

(組合) 無人駅や駅員不在時間帯があるなかで車イスを利用する方が増えていて、現場は対応に困っている。何らかの対応が必要ではないか？

(会社) 全ての対応は難しいが、お客さまともコミュニケーションを取ってやっていく。

大会発言を基に、課題の解決に向けた労使議論をしました！
安心して働ける環境づくりと、会社の発展を通じた労働条件向上を実現するため、
これからも組合員の声を基に改善を図っていきます！